

# 1 学年 論理・表現 I 学習指導案

神奈川県立瀬谷高等学校 教諭 齋藤 嘉美

1. 日時：令和4年6月30日（木）2校時

2. 場所：1年4組（本館5階）

3. 対象クラス：1年4組 40名

## <生徒観>

男子26名、女子14名のクラスである。男女の仲もよく、活発に授業に参加する生徒が多い明るいクラスである。英語力に関しては中学までの基礎知識が定着している生徒が多く、どの生徒も自分の持てる力を発揮しようと努力し学習に取り組むことができる。また、英語を主体的に使用する態度も見られ、生徒同士が英語で気持ちを伝え合う場面も多い。ペアワークを行う際は互いに学び合おうとする姿勢が常に見られ、英語の学習に対してクラス全体が前向きな雰囲気である。

4. 単元名：MY WAY Logic and Expression I

Lesson 3 The Arts～アートの世界へ旅立とう～

5. 単元について

## <単元観>

- ①未来表現の基本的な用法を学び、自分の予定について具体的に表現することができる。また、気持ちを伝え合うための基本的な語句や文を身につけ、自分の考えや気持ちを即興で伝えることができる。
- ②生徒自身が自分の「夏休みの予定」や今後の取り組みたいことを伝え合うことができる。

## <単元の評価規準>

	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
	[知識] 未来表現や基本時制の特徴やきまりに関する事項を理解している。 イベントや物事を説明する表現の意味を理解している。		
話すこと [やり取り]	[技能] 自分の「夏休みの予定」について、未来表現やイベントを説明する表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを即興で伝え合う技能を身に付けている。	自分の「夏休みの予定」について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合っている。	自分の「夏休みの予定」について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合おうとしている。
話すこと [発表]	[技能] 自分の「好きな絵」について、基本時制（現在形、過去形、未来表現）や趣味、物事を説明する表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを整理し、発表する技能を身に付けている。	自分の「好きな絵」について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表している。	自分の「好きな絵」について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合おうとしている。

6. 指導計画（全6時間）

- (1) Q and Aを活用した単元の導入と未来表現を用いた会話の練習（1時間）
- (2) 新出語句の確認や発音練習（2時間）
- (3) 自分の「夏休みの予定」や「好きなもの」について会話やスピーチをする（2時間：うち、1時間が本時）
- (4) 文法演習とまとめ（1時間）

## 7. 本時の指導目標と育てたい力

- (1) 身近な題材を用いて、即興の会話やリテリングをすることができる（目標）
- (2) 会話をする際のアイコンタクトや自分の気持ちを表現する際に用いるジェスチャー、相手の話に反応したりするリアクションや共感を表す繰り返しに重点を置き、気持ちが伝わる会話をすることができる（目標）
- (3) さまざまな活動を通じて、クラスメイトと学び合い、他者とのコミュニケーション能力を育てる（育てたい力）

## 8. 指導上の工夫

- (1) 本時の目標と To Do List を明示し、45 分間の授業に見通しを持てるようにする。
- (2) 即興の会話やリテリングの手法を用い、英語を話すことへの抵抗感をなくす。
- (3) 生徒が英語で会話を行う際、机間指導を行い気持ちが伝わる会話ができるように支援する。特に、アイコンタクト、ジェスチャー、リアクション、相手の発言を繰り返すことに重点を置くように伝える。
- (4) 視覚情報を絞り、生徒が見通しを持って授業に取り組めるようなワークシートを作成する。
- (5) 身近な題材を取り上げることで、生徒の興味関心を高め、主体的に学習に取り組めるようにする。

9. 展開

学習項目	生徒の主たる学習活動	指導のポイント・留意点	評価
挨拶と出欠の確認 Sun chan' s Wonderful English (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語で挨拶を行う</li> <li>「今日のワンフレーズ」を覚え、ペアで練習する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康観察を行いながら出欠を確認する</li> <li>英語で挨拶を行う</li> <li>アイコンタクト、ジェスチャー、リアクションに注意して会話ができるように支援する</li> <li>生徒が英語を主体的に話したくなるような環境を整える</li> </ul>	②話すこと「やり取り」
本時の目標確認 (3分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「本時の目標」と「To Do List」を確認する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートを配付する</li> <li>「本時の目標」と「To Do List」を伝える</li> <li>「To Do List」は黒板に掲示し、生徒が授業の進行状況を常に確認できるようにしておく</li> <li>目標はワークシートとスライドで提示し、生徒が常に目標を意識できるように支援する</li> </ul>	
Retelling (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>短い動画を鑑賞する</li> <li>自分のChromebookで動画を再生しながら、Key Wordsを用いてRetellingを作成する</li> <li>※ワークシートに記入しなくてもよい</li> <li>動画に合わせてペアでRetellingを発表する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リテリングの手法を用い、英語を話すことへの抵抗感がなくなるように支援する</li> <li>短い動画を再生する</li> <li>Key Wordsを提示する</li> <li>知っている英単語を用いて、できるだけ簡単に表現するように伝える</li> </ul>	
会話練習 (20分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートの会話をペアで練習する</li> <li>教科書P37の会話文を参考にしながら、ワークシートに「夏休みの予定」を記入する</li> <li>記入する際、be going to+動詞の原形の形に注意する</li> <li>自分の「夏休みの予定」についてペアを変えて会話をする</li> <li>指名されたペアはその場で発表する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「夏休みの予定」を記入する際、be going to+動詞の原形の形に注意するように伝える</li> <li>実際の会話に近づくために、教科書はできるだけ見ないように伝える</li> <li>アイコンタクト、ジェスチャー、リアクション、相手の発言を繰り返すことなどを取り入れ、気持ちが伝わる会話になるように支援する</li> <li>Google スプレッドシートを使って席替えを行い、複数ペアでワークに取り組めるようにする</li> <li>数人を指名し、その場で発表させる</li> </ul>	
まとめ (7分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業に関する「自己評価と振り返り」をGoogle フォームに記入する</li> <li>記入した感想をペアに伝える</li> <li>本時のまとめに取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自己評価と振り返り」をGoogle フォームに記入させる</li> <li>本時の目標を達成できているか口頭で確認する</li> <li>生徒の活動で良かった点を中心に前向きなコメントを伝える</li> </ul>	

10. 評価

- 話すこと「やり取り」の評価は、後日ペアでの会話の様子を動画撮影し提出させる。